

地域愛醸成を目的に、上五島高校の学生とオリジナル観光ガイドアプリを制作 ～誰でも簡単にガイドアプリが作れるノーコードツールを活用～

トヨタ・コニック・プロ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：武田 淳一郎、以下「トヨタ・コニック・プロ」）は、デマンド交通システム「トヨタ コニック ライド※」の実証実験を行っている長崎県南松浦郡新上五島町と連携し、人材育成や地域愛醸成を目的に、上五島高校の学生とともにオリジナル観光ガイドアプリを制作するワークショッププログラムを開催しました。

本実証で提供した「CONIQ AI GUIDE」は、位置情報と連動した音声観光ガイドがノーコードで作れるプラットフォームです。ガイド原稿生成AIによって、指定したスポットに対するキーワードを箇条書きで入力するだけで、誰でも簡単に音声観光ガイドアプリを作れるサービスです。

ガイド原稿生成AI以外にも、ガイドのペルソナ設計や、声色の選択などにより、方言やしゃべるスピードなどガイド音声のカスタムが可能となり、地域ならではのオリジナルガイドの作成をDX化します。

今回の取り組みでは現地の上五島高校の高校2年生とともに、“地域の未来の観光”を考えるワークショッププログラムを開催(※1)し、学生自身が地域の思い出エピソードを元にガイド内容を考え、オリジナルの新上五島町観光ガイドアプリを制作しました。制作したガイドアプリは、「トヨタ コニック ライド(※2)」を活用し地域を回遊するグリーンスローモビリティの車内放送とする実証を11月末まで行います。



※1:ワークショップの詳細はこちらをご参照ください。 <https://shinkamigoto-mobility.jp/>

※2:トヨタ・コニック・プロが提供する呼び出し式のデマンド交通システム。

新上五島町での実証の詳細はこちらをご参照ください。 <https://toyotaconiq-pro.co.jp/activities/2399/>

ワークショップ前半では、人口減少や移動手段の制約、観光の受け入れ体制といった地域の現状をデータから整理しながら、新上五島町の観光実態に向き合い、どんな工夫が必要かを、学生と一緒に考えました。後半では、新上五島町（青方エリア）の生活の魅力をどう伝えるかをテーマに、高校生自身が“自分ならどんなガイドを作るか”という視点でアイデアを出し合いました。観光スポットだけでなく、地元の人しか知らない景色や好きな場所、そこでの思い出などを言葉にすることで、「自分の思い出が観光の魅力になると気づいた」という気づきが生まれ、学生とともに地域一体で新上五島町の観光の形を考えるきっかけとなりました。今回の実証では、交通空白地域での生活交通サービスを、観光サービスとしても提供することで、人手不足や高齢化が進む地方観光地の新しい事業の形も検証していきます。

新上五島町の観光課題

弱み

- 人口減少・超高齢化が急速（2045年に人口1万人未満・高齢化率60%超の見通し）。観光を“受ける側”の人手も乏しい。
- 観光スポットは島全域に分散する一方、路線バス利用は役場周辺に集中。観光地周辺の公共交通利用は少なく、アクセス困難。
- 宿泊や受入れキャパは大規模集客は不向き。

強み

- フェリーからのアクセスが良い（青方は回遊拠点になり得る（ただし観光地化はされていない＝生活圏を魅力化する余地が大きい））
- 生活と観光が地続きで、住民と来島者の距離が近い
- デマンド交通「SmartGOTO」、アオカゼライドなど
- “顔の見える移動”が定着傾向
- 高齢者比率も高く地域人財が「地域の語り部」になりやすい

観光課題

交流・学びを軸に「量」から「質」へ

「量（延べ客数）」の追求は、交通・受入れの制約と逆行。
一人当たり体験価値を高め、滞在単価・再訪・推奨で稼ぐ“質”の観光スタイルへ

地域交流観光アイデア

観光客が生活交通を使うことで、公共交通網を維持する

新たな観光スタイル
地域交流

新たな取り組み
モビリティサービス

地元の思い出が、新上五島町の魅力に しゃべるアオカゼライド号

基本方針（質を上げる設計）

- 1.生活・観光の拠点を意識的に設計（住民と出会う場所・場・時間をつくる）
- 2.モビリティを“移動する出会い”に転換（移動＝交流/案内の場）
- 3.小さく始めて磨く（青方エリア/案内放送で実証→エリア/拠点を拡大）
- 4.誰でもガイド化（島民が自分の物語を音声ガイド化）

新上五島 地域交流観光

～島民一人一人が観光の担い手に～

島民の思い出をガイドアプリに
ガイドアプリが車内放送に
アオカゼライド号
アオカゼライド号がしゃべるアオカゼライド号
アオカゼライド号がしゃべるアオカゼライド号

旅マエ
島に来る前に島民による島の様々な情報に触れる

旅ナカ
島民との交流で町を好きに

旅アト
島から出た後も島のことを想う

ガイド作成実演

Let's TRY

特徴

- 今いる場所に応じたGPS連動音声ガイド
- プログラミング言語がわからなくても簡単にガイド作成ができる管理画面

CONIQ AI GUIDEとは

「位置情報連動音声ガイド」「エリア情報を学習させたAIによる音声チャット機能」「事業者自身がノーコードでアプリ開発できる管理画面」を低コストでの提供を目指しています。地方や都市部での観光体験の創出や回遊の促進に加え、リゾートホテルや観光施設内での周遊やコンシェルジュ対応(観光事業者様向け)、車両説明を伴う試乗のサポート(モビリティ販売事業様向け)など様々なニーズに応えるサービスを目指しています。トヨタ・コニック・プロは、これからもトヨタグループの一員として、モビリティ領域から広がる持続可能な未来に向けて挑戦を続け、“一人ひとりの幸せ”に貢献してまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ】

トヨタ・コニック・プロ株式会社 担当：河本・森木・下井・山本・福田・岩岡

Mail：guidedx-maas@toyotaconiq.co.jp

【会社概要】

■社 名：トヨタ・コニック・プロ株式会社

■設 立：2021年1月(創立1949年3月)

■資本金：50百万円

■株 主：トヨタ・コニック株式会社(100%)

<トヨタ・コニック株主：トヨタ自動車株式会社(66%)、株式会社電通グループ(34%)>

■代表者：代表取締役社長 武田 淳一郎

■事業内容：トヨタ自動車及びトヨタグループなどのマーケティングサービス・コンサルティング事業、モビリティサービス事業など

■ウェブサイト：<https://toyotaconiq-pro.co.jp>

TOYOTA
CONIQ